

		チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見など	課題・改善点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	23	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きいろ組の部屋を使用出来るようになり、より有効にスペースを利用出来ている。</li> <li>・クラスの子どもを分けて活動する時の方が、落ちつくと感じることがある。</li> <li>・適切であるクラスと適切でないクラスがあると思う。</li> <li>・1クラスの人数が多すぎる。少数支援が良い。</li> </ul>	・活動内容に応じて子どもをグループ分けしたり、部屋を使い分けるなどの工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	17	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足や行事では十分な職員数が確保できていない。</li> <li>・人員があればもう少し寄り添って上げることが出来るのになと思う事があった。</li> <li>・活発な子どもに手が掛かり、比較的小さい子どもたちとの遊ぶ時間が取れていない。</li> <li>・職員が食事の時間が少なくなる時がある。正職の先生が一人で子どもを見ていた時がある。</li> <li>・日による。少ない日もある。(2)</li> <li>・職員の休み等で日によって職員数が少ない時もあるが、活動設定を工夫する等に対応している。</li> <li>・クラスの職員配置数は適切だが、フリー職員の退職が今年度多かったため、足りない日も多くあった。</li> <li>・人員は足りている。</li> </ul>	・配置上は基準を満たしているが、日によって職員の配置数に差があり、個々のニーズに沿った支援ができない時もあり、十分な職員が配置されているとはいえない日や、逆に配置人数が多く手厚すぎる日もあり、子どもの力を最大限に引き出せない事も起り得る為、職員の人数が少ないと分かっている日は前日ではなく、前もって職員の出勤日調整を行い、逆に職員が多い日の活動内容については十分に子どもの力が発揮できるように心掛け、活動に取り組んでいます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	22	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールプールの部屋や静養室に内線電話がないので、改善できるとありがたい。</li> <li>・それぞれの子どもの障害特性が違うため難しいと思う事もある。</li> <li>・各保育室に内線電話はあるが、外への連絡ができない。(災害時)</li> </ul>	・ボールプールの内線電話については、業者に相談中です。 ・個々の子どもに合わせた環境について考え、支援に取り組む事を、日々のクラス会議や職員会議で検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓・フェンス等危険な所は、工夫が必要になっている。</li> <li>・毎日の掃除もクラスごとに役割が決まられていてどこも清潔に保たれている。</li> <li>・冬場のトイレは寒く、トイレトレーニングを行う上では促しづらい環境になる場合がある。</li> <li>・年長児等、プライバシーについて伝えていく大切な時期の子どもたちにとって、トイレが仕切りなく見えるようになっているのは、個々のプライバシーに配慮されていない。カーテン等を付けるべき。</li> <li>・冬のトイレが寒く、便座に座りにくくなる。水道も水しか出ないので、手洗いを嫌がる子が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓の危険対応は、業者に工事依頼済みです。</li> <li>・冬のトイレ対策については、検討していきます。</li> <li>・引き続き環境整備についての意識を持って、支援に取り組んでいきます。</li> </ul>
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、朝と降園後の振り返りをする事で共有・意見交換している。</li> <li>・よく話し合いは出来ていると思う。</li> <li>・クラスやその日のシフト配置により、内容・頻度にややバラつきがあると思う。</li> </ul>	・時間を有効に使い、各クラス及び職員全体での情報共有に取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25	0	・非常勤職員には分からない部分がある。	・非常勤職員の方にとって分からない点がある際には、その都度丁寧に説明するように努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25	0		・実施しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	24	1		・第三者による外部評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に出られない時も引き継ぎがあったり、書面でまとめて下さっているのがありがたい。</li> <li>・倫理面だけでなく、日々の活動も充実させられるような研修があればよい。</li> <li>・外部研修や園に外部の方を招いての研修等、第三者を交えての研修がある。</li> </ul>	・職員一人ひとりが向上心を持ち、研修に参加していけたらと思っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	0	・クラス内でのアセスメント時間がつくられるようすすめてほしい。	・担当クラスだけではなく、他のクラスとの交流を積極的に取り入れていきたいと思っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22	3	・明確なアセスメント→モニタリングの過程がある方がよい。	・正規職員がアセスメント、モニタリングを実施している為、全非常勤職員にも担当クラス以外の情報を共有するように努めます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	・ガイドラインを自分がしっかりと読んだ(見た)ことがないので、それに沿ってされているものだと感じているだけなので、自分自身で知らないといけないと思った。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	25	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	25	0		・プログラムについては、一人ひとりの子どもに合わせ、工夫をしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	25	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25	0	・すべての非常勤職員にまで行きわたっているかは分からない。	・時間を工夫し、情報共有に努めています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の支援の中では職員間で気になった事が言えずに過ぎていくことがあります。</li> <li>・クラスごとに違いはあるが、正規職員と非常勤職員間での打ち合わせや支援の振り返りが毎日できていない場合もある為、改善及び工夫を行っています。</li> <li>・支援終了後約15分間振り返りが出来ていて、支援に活かすことが出来ている。</li> <li>・振り返りをする時間が少しでも持てて良かった。</li> </ul>	
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25	0		・クラス会議の充実に取り組んでいます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	24	1		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	24	1		・非常勤職員にも情報の共有を行っています。	
関係機関や保護者	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	24	1		・必要に応じて実施しております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	/	/		

との連携	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
------	---	---	---	--	--

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24	1	・必要に応じて、しっかり行っていると思う。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24	1	・必要に応じて、しっかり行っていると思う。	
	27	他の児童発達支援センターや発達障害者支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	18	・コロナ禍を経て、今後は徐々にそういう機会が持てたらいいと思う。	・各ご家庭において、幼稚園等の体験保育に通い、交流されている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、近隣こども園の園庭開放への参加の機会等を設けていきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	19	6		・会議内容に応じて、相談支援専門員又は児童発達支援管理責任者が会議に参加しているが、他の職員への会議内容の報告までは出来ていないこともある為、今後は更なる情報の共有を心掛けていきます。 ・会議に参加したことのない職員の参加についても今後検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25	0	・十分とは言えないかもしれないが、職員みんなが心掛けていることだと思う。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	24	1	・今後さらにそういう機会を増やしていけたらいいと思う。 ・正規職員の先生方に保護者さんの対応はして頂いているので、(非常勤職員は)どれほどの支援なのか詳しく分かっていない。	・家族支援への課題が大きく、助言できることを職員間で話し合い、職員のスキルアップを図っていきます。 ・クラス会議等で保護者への支援状況について共有していきます。 ・今後も臨床心理士の先生による勉強会を実施していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	25	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25	0		・連絡帳や電話連絡及び面談内容等、ご自宅の様子についても情報を共有し、クラス職員が適切に対応できるよう努めてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25	0		・現場の職員が保護者交流会により参加できるよう、保護者交流会の実施方法や実施時間帯等について、検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	1		・相談や申し入れがあった際には迅速に対応出来るように今後も心掛けていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25	0		
	38	個人情報に十分注意しているか	25	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0	・十分とは言えないかもしれないが、今出来る限りの配慮を行なっていると思う。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	23	2	・ボランティアとして地域の方に参加して頂いているが、もっと広く招待出来るようになったらいいと思う。	・地域の福祉ニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	25	0	・保護者への周知がまだ不十分かと思うので、今後しっかりやっていきたい。 ・看護師の方がいたらより良い環境が作れると思う。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25	0		・避難訓練の内容について、常に予測される状況を想定し、子どもたちの命を守る取り組みを強化していきます。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	25	0	・担任職員以外への周知が十分でないと思うので、非常時にも誰でも即対応できるよう日頃から情報を更新し、誰でもすぐその情報を確認できる仕組みを整えたい。(ファイルの色や場所を仕分けるなど)	・今年度から各クラスに日報をコピーし、情報共有に努めています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25	0		・担当しているクラス以外の対象児についての情報共有を徹底していきます。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	24	1	・各クラスヒヤリハットやケガ報告を共有する事で安全面への意識を高めている。	・ヒヤリハットを未然に防ぐ意識を高めていきたいと思っています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25	0		・毎月「業務等のセルフチェックリスト」にてセルフチェックを実施しているが、各職員がチェックした事を詳しく検証するまでは至っていない為、日々のセルフチェック内容を検証し、支援に繋げていきたいと思っています。 ・虐待防止委員会を中心に研修等を通し、虐待防止に努めています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	25	0		・身体拘束(通園バス利用時)につきましては、支援計画とは別に、個別に保護者の方へ説明し、毎月ごとに見直し、同意書への確認をいただいでおり、その現状状況につきましては、担当クラスではない職員一人ひとりにまで周知徹底を行っていきます。

全体を通して、職員間の情報共有に課題が見られる為、全職員が受け身ではなく、自発的に情報共有についての意識を高め、日々の支援の充実に努めて参ります。